

＜対策のポイント＞  
国が策定する生産から販売・輸出に至る総合戦略に基づき、国内外の需要を見据えた養殖業の成長産業化を実現するための関係者の取組への支援や、低コスト・高効率飼料等の開発など、養殖生産の三要素である餌、種苗、漁場に関するボトルネックの克服等に向けた技術開発・調査を実施。

＜事業目標＞  
主な栽培漁業対象魚種及び養殖業等の生産量の増加（1,713千トン〔平成22年度〕→1,739千トン〔令和4年度まで〕）

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. 戦略的養殖品目総合推進事業

養殖業の成長産業化の実現に向けた協議会等の開催、漁場環境の維持・改善に関する指針等の策定、日本真珠の海外販路拡大等や錦鯉養殖業の振興等の取組を支援します。

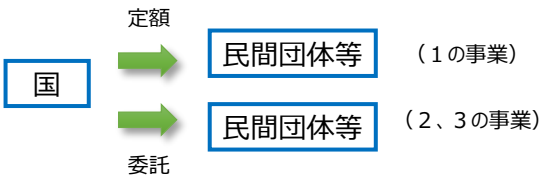
2. 養殖業成長産業化技術開発事業

- ① 生産コストの削減を図るために、養殖対象種の消化生理に基づいた低価格・高効率飼料の開発、魚粉代替原料の生産技術の開発等を行います。
- ② 市場で高い評価を受ける養殖対象種の生産性向上に必要な種苗生産技術の高度化や優良系統の作出等を行います。

3. 養殖業成長産業化調査事業

- ① 貝類養殖において、適正養殖管理と事業収益性の両立について調査・分析を行います。
- ② 養殖業の成長産業化に資するよう、陸上養殖の実態を調査・分析を行います。

＜事業の流れ＞



戦略的養殖品目総合推進事業【補助事業】

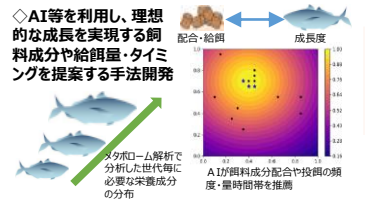
- 総合戦略の実行に向けた協議会等の開催
- 漁場環境に関する指針等の策定を支援
- 日本真珠のEC等を活用した海外ビジネス展開の促進等
- 錦鯉オンライン販売システム、品種や特徴の規格化・情報発信等を支援



養殖業成長産業化技術開発事業【委託事業】

飼料コスト低減対策

- AI等を利用した消化生理に基づく低価格・高効率飼料を開発（ブリ、マダイ、スジアラ）
- 魚粉代替原料（水素細菌）を活用した飼料開発



優良種苗開発等養殖生産高度化対策

- 優良系統の作出（サケ・マス類、ノリ等）
- 人工種苗安定生産体制構築（カンパチ）
- 優良個体選別システムの開発（クロマグロ）
- 地球温暖化に適応した養殖技術の開発（ノリ）



養殖業成長産業化調査事業【委託事業】

- 貝類の適正管理に向けた適正管理と収益性の両立の検証
- 陸上養殖魚種の市場規模等の調査・分析



養殖業の成長産業化